

登 校 許 可 書

保護者の方へ

学校感染症は学校保健安全法により、感染力のある期間に配慮して病状が回復し集団での生活が可能な状態となつてから、登校するように定められています。登校に際して主治医による登校許可書の提出をお願いします。

三育学院大学付属
光風台三育小学校

_____年 児童氏名 _____ 男・女 生年月日 _____年 _____月 _____日

上記の者は、すでに症状が回復し集団生活に支障がない状態になったので登校可能と考えます。

_____年 _____月 _____日

医療機関： _____

医師氏名： _____ 印

○印	病名	登校（園）のめやす
	麻疹（はしか）	解熱後3日を経過してから
	インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで
	風しん	発しんが消失してから
	水痘（水ぼうそう）	すべての発しんが痂皮化してから
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまで
	咽頭結膜熱（アデノウイルス感染症）	主な症状が消え2日経過してから
	結核	感染のおそれなくなつてから
	流行性角結膜炎	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
	腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111等）	病状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで
	溶連菌感染症	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること
	手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
	ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
	ウイルス性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
	伝染性紅斑（リンゴ病）	全身状態が良いこと
	帯状疱疹	すべての発しんが痂皮化してから
	髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで
	その他（ _____ ）	

「学校保健安全法 第2章第4節 感染症の予防」より